

ポプラハバチ

7月と9月に集団でポプラやヤナギの葉を食べるケムシ（幼虫）。最大長約20mm。体は黄色、ときに背中に黒い斑紋が2列に並ぶ。頭部は黒い。

まれにポプラで多発するとされる。

よく似た種にニセポプラハバチがあり、これまでの生態や被害記録は2種が混同されている可能性があるため再検討を要する。

ポプラハバチ

【学名】 *Trichiocampus populi* 【分類】 ハチ目（Hymenoptera）、ハバチ亜目（Symphyta）、ハバチ科（Tenthredinidae）

【分布】 北海道、本州；サハリン。

ニセポプラハバチ

【学名】 *Trichiocampus flaviventris* 【分類】 ハチ目（Hymenoptera）、ハバチ亜目（Symphyta）、ハバチ科（Tenthredinidae）

【分布】 北海道。

【生態】

宿主：ポプラ属、ヤナギ属。

年2世代。成虫は5月下旬～6月上旬と8月上旬に出現、幼虫は6～7月と8～10月に出現。十分成長した幼虫は土の中で繭を作り蛹になる。7月の幼虫は葉裏や樹皮の隙間で繭になる場合がある。繭内で幼虫で越冬する。

発育ステージ	～3月	4	5	6	7	8	9	10	11～
成虫・卵			..○ ○..	.. ○..	.. ○○..				
幼虫（摂食・成長）				..■ ■■	■■■■ ■■■■	■..		
幼虫（繭内）	+++	+++	+..		..++++++	+++
蛹（繭内）			..◇◇◇ ◇..				

【被害と防除】

ポプラでまれに多発するが、すぐに終息する。食害により木が枯れた例は知られていない。普通、防除は必要とされない。

【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病害虫獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー)

写真) .

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ポプラハバチ habachi/popuraha/

kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/12/29.